

ブックトーク「わんわん・にゃーにゃー」

ねらい	ペットに感謝する日に合わせて、犬や猫に関する本に関する本に興味を持つ
対象学年	小学校3、4年生
時期	11月
所要時間	20分
紹介する本	『なまえのないねこ』竹下 文子/文 小峰書店 『すてねこたちに未来を -小学4年生の保護ねこ活動-』菅 聖子/著 汐文社 『犬と私の10の約束』サイトウ アカリ/作 アスキー・メディアワークス

導入	さて、今日のテーマはなんでしょう？ ヒント、11月22日は何の日でしょう？ 1は英語で「ワン」。1と1だから「ワンワン」。 とくれば・・・もうわかりますね。 「ワンワン・にゃーにゃー」の日なので、イヌとネコをテーマにしたいと思います。
1冊目	ではさっそく、絵本をよみたいと思います。 (『なまえのないねこ』を読む。4分)
2冊目	このメロンちゃんのように、飼い主さんのいないネコ、実はたくさんいます。 この『すてねこたちに未来を』には、2018年には、62,137匹のネコが愛護センターに引き取られたとなっています。 そして、そのうち自然死や殺処分で死んでしまうネコは34,854匹。毎月、約2,900匹います。 多いと思いませんか？ でも、このかわいそうなネコたちはどうしたら減らせるのでしょうか？ 私はかわいそうだと思っても、何もできないし、していません。 ですが、この本の主人公、中山なちゅらは違いました。 (111ページをあける) なちゅらは、小学4年生です。 かわいそう、かわいい、という気持ちだけでは、ちゃんとネコ達を助けてあげることはできません。 そのがんばる姿が本になっています。 みんなもやってみて、というわけではなく、捨てられたネコやイヌ達のことを知ってもらえたらなど

	思います。
3冊目	ネコの本を紹介しましたが、ワンワンを忘れてはいませんよ。 『犬と私の10の約束』を紹介します。 (本をみせる) かわいいイヌでしょう。 主人公のあかりはイヌが好きでしたが、なかなか飼ってもらえませんでした。 そんなある日、お母さんが「10の約束を守れるかな?」と話をしてくれます。 ちょっと読みますね。 (2ページから読む。5ページは飛ばす。) この話をした後、あかりさんのお母さんは、亡くなってしまいます。 あかりさんが12歳の時でした。 さみしさの中、必死でがんばるあかりさんの家に迷いこんだのが、この(表紙を指さす)イヌのソックスです。 あかりさんはソックスを大事にしていたのですが、中学・高校生になり、大学生になっていきます。 毎日が楽しいのですが、とても忙しくなります。 お母さんと話をしたイヌとの約束は守れるのでしょうか? そして、10こ目の約束を知ることはできるのでしょうか? ぜひ読んで、あかりさんを応援してあげて、ソックスの可愛い姿を知ってほしいなと思います。
結び	以上で、今日のブックトークは終わります。 今日、紹介した本のリストが欲しい方は、こちらにありますので、自由に持って行ってください。